



題字
山口昭七氏

発行：日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
ホームページ
「JCP上伊那」



7月参院選 戦争法廃止2千万署名達成を

「国民連合政府」実現の入り口

戦争法強行から4ヶ月。戦争法を廃止し、立憲主義を取り戻そうと、九条の会など多くの団体や個人が、スタンディング宣伝、ビラ配布、集会、2000万署名などに取り組み、広がりを見せています。

民商が商店を一斉訪問

「STOP！消費税」「戦争法廃止」を、上伊那民主商工会（民商）は強く訴えています。会では1月16日午前中、伊那北駅から西町までのお店など約70軒を9人が訪問し対話しました。

店先で消費税増税反対と戦争法廃止の署名に訪問したことを伝えると、7割余の人が二つ返事でサインしました。この日の署名は、消費税増税反対が52人、戦争法廃止が76人でした。

消費税署名は国会に定期的に届け2500人を超え、戦争法廃止は5000人を突破。「税金ばかりとられて暮らしていくのが厳しい」「政府は庶民のことを少しは考えてもらいたい」「戦争だけは絶対だめ」など多くの声が寄せられました。



武田良介比例区予定候補

1月23日、650人を集め、安曇野市で開催しました。

比例区で8人全員当選をはじめ共産党の大躍進を勝ち取るため、長野県で得票率20%以上、20万人余の支持を獲得し、さらに野党共闘の実現により自公勢力を過半数以下に追い込み、戦争法を廃止し立憲主義を取り戻すための2000万署名活動などが確認されました。

この集会で参院選比例区予定候補の武田良介さん、長野選挙区の唐沢ちあきさんが決意表明を行い、井上哲士、藤野保史両国会議員が国会報告を兼ねてあいさつ。鮎沢聡県委員長から野党共闘への考えや参院選必勝の闘い方などが報告され、党中央選対局の田熊和貴さんの記念講演の後、



唐沢ちあき選挙区予定候補

各地の後援会から戦争法廃止の2千万署名にとりくむ活動報告などが行われました。

地蜂

高遠九条の会主催の映画「戦場ぬ止み」を鑑賞した。会場いっぱい椅子を増設の中でスクリーンに食い入る。戦中、沖繩は激戦地。母艦何隻駆逐艦何隻沈めたときか、住民は聞かされな

い中で米軍上陸。壕の中に炎放射器で火を放ち民間人が犠牲になった▼53年に強制的に軍用地の接収が始まる。「一坪たりとも渡すまい」と島ぐるみ抵抗し銃を向けられ逮捕された。就職、水車電気をエサにアメとムチで接収されていた。その子達が今立ち上がり、特に女性がたくましく闘っている姿に感動した。カネの力で賛成、反対に割れ「沖繩県民同士で喧嘩してどうするんだ」と叫ぶ場面、何と不幸か▼病を押して菅原文太さんは翁長知事候補の応援「沖繩の風土も本土の風土も海も山も空気も風も全て国家のものではありません。そこに住んでいる人たちのものです。辺野古もしかり」思わず涙がこみ上げる重い言葉でした▼知事選は勝利したが工事は再開。機動隊の圧力にめげず、♪「腕組んでここへーここへ座り込めー」と抵抗。ダンプカーやタンクローリー前横たわって阻止する住民。10万の大差で勝つたのに民意を無視して進めるのは許せないと叫ぶ女性▼半年で2000万の戦争法廃止署名が訴えられて後半に入った。沖繩の皆さんの闘いに連帯してアベ政権に抗議して署名運動を成功させよう。(EK)

「戦場ぬ止み」に 200人が涙と怒り 高遠九条の会が主催

「あの戦争から今日まで、戦場であり続けた島の運命を、今度こそ断ち切りたい」と三上智恵(映画監督)さんが製作した映画「戦場ぬ止み」上映会が、24日午後高遠町内で開催され200人余が視聴し涙と怒りの集会となりました。

映画は、マスクミが報じない沖縄の現実と、「命に代えても」という沖縄戦を生き延びたおばあたちの思いを描いたものでした。

「基地問題を沖縄だけの問題にさせない」(50代男性)、「体を張って頑張っている姿に心を打たれた」

(60代女性)「純粋な思いを大切に
する社会にしたい」(60代女性)
「戦争法廃止署名をしつかり集める」
(男性)などの感想が多数寄せられて
いました。

映画会後、

12月末に沖縄
で開催された
高校生平和ゼ
ミの平和集会
に引率参加し
た先生からの
報告も行われ
ました。



会場いっぱいの参加者

「安倍内閣の退陣に協力する」と署名

西箕輪

西箕輪では、九条の会と医療生協支部が共同し戦争法廃止署名を有権者の2割の1100人を目標に決め取組んでいます。1月16日は午前と午後7人が吹上地域に入り署名81人。22日は羽広地域に2人が入り18人から署名を集め、合計260人を超えています。訪問先では、「安倍首相は怖い、戦争する気だ」「安

倍の退陣に協力するよ」などの声が聞かれ、会えれば署名してくれます。中には宮田村の廃棄物最終処分場建設反対の署名用紙を差し出し協力を求める人もあり、激励し合いました。留守宅には署名用

未来へ挑戦!

新婦人伊那が新年会

1月23日、富県の「Ajisaki」で、恒例の新年会を開催。11班から20人が参加。旧年をふり返るとともに、沖縄を始め全国の

紙と「協力をお願い」のメモを置くようにしています。会では土曜日を中心に行動計画を立てていますが、都合で参加できなかった人が平日行動するなど目標の早期達成に全力をあげています。(荒・談)

新年から行動

手良九条の会

手良九条の会は、新年早々の1月3日午後1時から全国一斉のスタンディング行動を行いました。



アピールする会員のみなさん

会長を先頭に6名が参加し「安倍政治を許さない」のプラスターと「手良九条の会」の幟旗を掲げてアピールしました。

正月でしたが、30分間に51台の自動車を通り、多くの人が車から手を振って応援してくれました。(高)

仲間と連帯して、平和な未来をつくる新たな挑戦に、各自の持ち味を生かして、楽しみながら取り組もうと確認。東春近班のお色気たっぷりなバランスボール演技に大爆笑と大喝采で閉会しました。(尾)

「原発なくせ」 「今すぐ廃炉」 いな金行動1500回を突破!

福島原発事故から5年になろうとしています。さよなら原発上伊那の会(事務局・上伊那医療生協組合員センター)が中心になって毎週金曜日午後6時から、いなせ北側広場で「原発なくせ」「今すぐ廃炉」など原発の恐ろしさと今も避難を強いられている人々の状況を通行人に訴え続け、1月8日(金)で1500回になりました。



「いな金行動」参加者のみなさん

「事故はいつあるか心配、早く廃炉に」「がんばって」などの激励が寄せられていました。事務局では「短時間でも行動に参加を」と呼びかけています。

放射性物質など危険物は「ゴメン」！

10万人反対署名へ結東

民間企業が宮田村大久保に放射性物質を含む廃棄物最終処分場を建設するという計画が明るみに出たことで、近隣5地区（伊那市の東春近、西春近、宮田村の宮田、駒ヶ根市の駒ヶ根、駒ヶ根東）の農政対策委員会が合同で、1月18日夜、駒ヶ根市内で学習会を開催。約200人が参加しました。

廃棄物問題に詳しい関口鉄

夫さんから処分場の計画や問題点などを聞きました。

集会では、「万一の事故で河川や地下水が汚染されると農畜産物への被害は免れない。農産物の取引にも大きな障害が出る」と危機感を募らせ、建設反対のために宮田村や駒ヶ根市の反対組織と連携した10万人署名活動に協力することを確認しました。



放射性物質を含む 廃棄物最終処分場計画

宮田村に計画されている民間業者の廃棄物最終処分場には、放射性物質含有の焼却灰、飛灰、汚泥を含む廃棄物が持ち込まれることが問題化しています。放射性物質は、人体に悪影響を及ぼす危険性があるために、その処理と管理には慎重を期さなければならぬことは言うまでもありません。

ところが、計画されている立地環境は、天竜川と太田切川の氾濫原にあたり、処分場は大量の地下水脈のある礫の層の上に作られることとなります。地下水に浸透する恐れや、周辺農業用水に流入することは十分に考えられます。

前沢けい子後援会「新春のつどい」開く



36名が参加、子どもを連れたの参加も多く、「元気が出るね」との声が多く寄せられました。3種類のおいしいお餅や料理を食べ、ビンゴゲームで盛り上がりました。

飯島光豊

また、周辺住民が廃棄物の積み下ろしや破砕などで粉じんを吸い込んだり、粉じんが農作物に付着すれば内部被ばくの心配もあります。風評被害の心配もあります。また、国が放射性物質の規制基準を、100ベクレルから8000ベクレルに引き上げたことは大きな問題です。すでに、宮田村、駒ヶ根市、飯島町、中川村の市町村長と議会議長は、反対を表明して10万人署名に取り組んでいます。伊那市も議会も、住民運動に呼応して取り組むべき問題です。

宮田村は村を上げて反対をし、駒ヶ根商工会議所、JA上伊那の農政対策委員会は、すでに反対運動を開始しています。

シリーズ2 フロア & ぷろ

上の原之音 1

前史(上)

上の原 中村 光利

「運転手さんの住まいはどこですかねえ」

「伊那市の上の原ですよ」

「それはどの辺だね？」

「昔、飛行場だった所ですよ」

レインボー（上伊那生協病院の通院者送迎）車内で、時々、こんな会話が交わされる。市内はもちろん、市外に出ると「伊那市の上の原」と言っても場所がわからない人が多い。でも、高齢者に「元、飛行場だった所」と言えば、上伊那じゅう知らぬ人はいない。何故なら・・・。

第二次大戦中の一九四三年から一年余の建設工事に上伊那じゅうから、数次にわたって毎日千人以上の規模（男十四〜四十五才、女十四〜二十五才の未婚者）で「勤労奉仕」という動員をされていたからです。

一九四三年八月から埼玉県の陸軍飛行学校の分教所として陸軍伊那飛行場が着工され、その中心となる施設部隊や朝鮮人の人夫を含む「株木組」「松村組」といった建設会社を補完する形で、当時の上伊那二十ヶ町村の住民が大動員された。

また、翌年五月からは、旧制伊那中（現伊那北高）をはじめ、飯田・諏訪の旧制中学、さらに伊那国民学校高等科の学生生徒までもが動員されて突貫工事が行われた。今のように建設重機やトラックがあるわけでもなく、「トロッコを含め人海戦術だった」と聞きました。

（*）中村さんは、満州から引き揚げ、一九四六年、八歳の時一家六人で上の原に入植しました。この原稿は、二〇〇七年二月の「支部だより」と翌年五月の「竜東のひろば」に連載したものに、少し、加筆、修正したものです。

随想

田楽座元座長

故松田満夫みちおさんのこと(下)

美原 木村 保

ひとは「たまゆら」の輝きが人生だ

この芸術論を構築するために、松田満夫氏は、毎年、民俗学者である向山雅重先生のお供をしながら、雪祭り、冬祭り等々、霜月神楽の調査を続けたのである。そこで自分の芸術論を確信し、さらにそこで、演じられる場所「舞台」とは「神様を喜ばせるための場所である」と考えるに至った。

今の「舞台」は、お客さんを正面にして演じるようになっていくが、本来、正面は神様のいる場所であるから、ホリゾントの裏に隠れている神様が正面であると考えるべきである。したがって演者は、後姿を見せられる演者にならなければならない、と松田満夫氏は考えていた。

それを、彼自身まだ完成できていないと悔やんでいたのである。

でも、松田満夫氏の芸術論を継承発展していくであろう若い座員が育っていることを、私は、松田氏ともども喜ぶものであります。

松田氏よ、貴方の人生はやっぱり輝いていたよ。

前号で木村さんの住所を上原としましたが、美原の誤りでした。お詫びして訂正します

催し案内

- ☆ 「アベ政治を許さない」
スタンディング
2月3日(水) 午後1時～
西箕輪大萱交差点
九条の会伊那市連絡会
- ☆ 柳川ひろみ後援会「新年会」
2月7日(日) 午後2時～4時
中央区公民館 会費1000円
連絡先 柳川ひろみ(76-5770)
- ☆ 飯島光豊後援会「新春のつどい」
2月7日(日) 午後3時～
渡場すこやか館 参加費1000円
連絡先 渡辺(72-4748) 市川(73-2928)
- ☆ 日本共産党市議団議会報告会
2月14日(日) 午後1時30分～3時
伊那公民館2階会議室
- ☆ 2016春闘学習集会
2月19日(金) 午後6時30分～
伊那市振興公社(旧伊那勤福センター) 2階
講師 吉田 豊さん(愛知県学習協会会長)
参加費 500円
主催 実行委員会
(73-3858 上伊那地区労連)

風物詩

でえもんじ (大文字)
あがっと
(西箕輪上戸)

写真は渡辺光博さん、資料は渡辺学さん(西箕輪)提供



小正月14日の早暁に飾り付けを行う伝統行事。地区の中心の辻に、様々の飾り物を取り付けた、長さ12mにもおよぶ木の太棒(でえもんじ)を立てる。道祖神祭の一つで厄除け・家内安全を願う信仰行事。(「西箕輪誌」ふるまひの語より)

- ☆ 「脱原発」いな金行動
毎週金曜日午後6時～6時半
いなっせ北側広場
主催 さよなら原発上伊那の会
連絡先 医療生協組合員センター